



- ◆ 進行再発胃がんの第1選択のレジメン 1クール35日間 TS-1は3週服用2週休薬(3投2休)
- ◆ 体表面積と腎機能による用量設定と投与制限 適正投与基準 Ccr60ml/min以上
- ◆ CDDPは8日目に投与 水分負荷(hydration)のため7日目~12日目は入院
- ◆ 『制吐薬適正使用ガイドライン』の分類では高度リスク→ガイドラインに沿った制吐剤を使用
- ◆ 必要に応じて制吐剤・利尿剤を追加
- ◆ 効果があるうちは繰り返し施行

**【副作用】** 骨髄抑制(白血球減少・貧血・出血傾向) 下痢 口内炎 嘔気・嘔吐 食欲不振  
 発疹 色素沈着 流涙 間質性肺炎 浮腫や尿量低下 急性腎不全  
 聴力低下(CDDP 80 mg/m<sup>2</sup>/日以上 総投与量 300 mg/m<sup>2</sup>以上でリスク) 末梢神経障害

**【注意すべき併用薬】**

- ◆ ワーファリン: PT-INR変動と出血に注意 (TS-1)
- ◆ フェニトイン: 血中濃度上昇 嘔気・眼振・運動障害 (TS-1) 血中濃度低下 痙攣 (CDDP)
- ◆ アミノグリコシド系抗生物質、VCM、フロセミド: とともに腎機能障害のリスク 聴力障害(CDDP)
- ◆ 放射線治療・他の抗悪性腫瘍薬
- ◆ **禁忌** フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍薬・抗真菌薬 (TS-1)
- ◆ TS-1で血糖上昇の副作用の報告あり ステロイドの使用もある
- ◆ 糖尿病、消化性潰瘍、精神科疾患、高血圧症などのある患者は症状のモニタリングも